報道関係 各位

南方熊楠顕彰館 館長 松居 竜五

2025 年度南方熊楠研究会夏期例会公開シンポジウムの開催について

平素は、南方熊楠翁顕彰事業にご高配を賜り、誠にありがとうございます。 さて、南方熊楠顕彰会では、下記のとおり、公開シンポジウムを開催しますので、報道方よろしくお願いいたします。

記

#### ■2025 年度南方熊楠研究会夏期例会

公開シンポジウム「南方熊楠はどのようにして英語を学んだのか」

日 時:令和7年8月2日(土)15:30~17:30

会場:田辺市文化交流センター「たなべる」2階大会議室

内 容:1867 年に生まれた南方熊楠は、明治時代の新しい学校制度の中で、本格的に英語教育を受けた最初の世代にあたる。熊楠がいた当時の和歌山中学、東京大学予備門の英語教育はどのようなものだったのだろうか。また、熊楠は、19歳で日本を離れた後、米国・英国での独学を通じて飛躍的に英語力を伸ばしたと考えられる。どのようにして英語学習を進めたのだろうか。今回のシンポジウムでは、こうした問題を取り上げる。

定 員:60名 聴講料:無料

申込み:南方熊楠顕彰館(0739-26-9909)まで電話でお申し込みください。

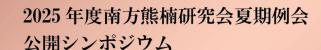
※詳細は添付のチラシをご参照ください。

#### ■連絡先

田辺市教育委員会

文化振興課 南方熊楠顕彰館

担当:﨑山 TEL:0739-26-9909



1867年に生まれた南方熊楠は、明治時代の新しい学校制度 の中で、本格的に英語教育を受けた最初の世代にあたる。 熊楠がいた当時の和歌山中学、東京大学予備門の英語教育 はどのようなものだったのだろうか。また、熊楠は19歳で 日本を離れた後、米国・英国での独学を通じて飛躍的に英 語力を伸ばしたと考えられる。どのようにして英語学習を 進めたのだろうか。今回のシンポジウムではこうした問題 を取り上げる。

時

会場 田辺市文化交流センターたなべる 2階 大会議室

定 員 60名 (事前申込制・聴講無料

## 発表者

南方熊楠と明治初期の英語教育 井村 誠 (大阪工業大学教授)

南方熊楠の英語学習について 一東京大学予備門時代を中心に一 プラダン・ゴウランガ・チャラン (ZEN 大学講師

抜き書きから読み解く在米時代の南方熊楠の英語力 一ウェブスターの『アメリカ英語辞典』からの抜き書きの考察を中心に 吉川 史子 (広島修道大学教授)

# コメンテーター

河野 至恩 (上智大学教授)

### 司会

松居 竜五 (龍谷大学教授/南方熊楠顕彰館館長)

TEL 0739-26-9909 E-mail minakata@mb.aikis.or.jp



